

第2学年 国語科学習指導案

公開授業Ⅰ 2年2組

公開授業Ⅱ 2年1組

児童 2年1組 計23名
 2年2組 計23名
 授業者 2年1組 五嶋 寿恵
 2年2組 西野 美晴

1. 単元名 じゅんじょに気をつけて、「どうぶつすごいぞカード」を作ろう！
 教材名 「ビーバーの大工事」（東京書籍 2年下）
2. 身につけさせたい力と単元を貫く言語活動の構想

単元を貫く言語活動

<児童の実態>

- 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読しようとする。
- 読んで思ったことや考えたことは、ほとんどの児童が進んで話したり、書き表したりできる。
- 内容や表現の大事なところを見つけようとする。
- 簡単な文章については内容の大体を読むことができる。
- △事柄の順序に気を付けまとまりをとらえ、その中の主述をおさえながら読むことが弱い。
- △目的に沿って大事な言葉を書き抜いたり書き換えたりすることに困難を感じている児童がいる。

<身につけさせたい力>

- ・事柄の順序に気をつけて読み、内容の大体を読む力。
- (読むこと イ)

<言語活動>

「どうぶつすごいぞカード」を作り交流するために、動物について書かれた本や文章を読むこと。

(言語活動例 ウ)

<既習事項>

- ・形式段落を見つけること。
- ・文章の構成を質問と答えなどのまとまりごとにとらえること。
- ・主語、述語に気を付けて読むこと。
- ・順序に気をつけて読むこと。

<これからも指導していきたい力>

- ◇目的に沿って大事な言葉を書き抜いたり、まとめたりする力。
- ◇時間的な順序や事柄の順序をとらえる力。

3. 単元について

(1) 言語活動の特徴とつきたい力との関係

本単元の言語活動は、「どうぶつすごいぞカード」に動物の体の特徴やその機能についてをまとめ交流するために、動物について書かれた本や文章を読むことである。

カードは2年生の子どもたちにとって分かりやすく、相手に伝える手段として身近なものとなっており、担任の意図によって構成や様式が工夫しやすいという利点がある。カードには「どうぶつの名前」「できること」「体のとくちょう」の3つの視点で書かせることにより、本や図鑑から事柄のまとまりをとらえ、内容の大体を読むことができると考えた。これらのことから、事柄の順序に気をつけて読み、内容の大体を読む力がつくと考えた。

(2) 指導にあたって

本単元は、事柄の順序に気を付けて読む力を身に付けさせることをねらいとしている。そのために教材文「ビーバーの大工事」で、工事の順序にそって工事の内容とそれができる体の特徴を読み取することを学習していく。

そこで、第一次では、まず子どもたちが知っている動物の体のつくりや特徴を紹介し、それを自分でも調べたい、教えたいという思いを抱かせたい。そして、分かったことを「誰に」「どうやって」伝えるかということについて、子どもたちとじっくり考えることでカード作りに興味と目的意識を持たせたい。

第二次では、ビーバーの工事の内容と順序をとらえ、写真やオノマトペなどの文章表現からそれぞれの工事の内容とビーバーの体のつくりについて気づかせていきたい。そこで分かったことをカードにまとめる活動を繰り返し行う学習過程を組むことで、事柄のまとまりごとの大事な言葉をとらえる力を身につけさせたい。また、ペア学習を仕組みのようにまとめたかを交流することを通して、内容の大体を読む力が高まるようにする。さらに、第三次の「どうぶつすごいぞカード」作りが主体的となるよう、並行読書で分かったことを取り上げる時間を第二次の単位時間においても設けたり、学習過程を段階的に仕組んだりしていきたい。児童が、書く事柄や順序を理解したうえで活動に取り組むことができるようにすることで、主体的に学習を進められるようにしていきたい。

第三次では、並行読書してきた中から自分が教えたいお気に入りの動物を選ばせ、「すごいぞカード」に体の特徴と機能について分かりやすく書き表すことを意識してまとめさせていきたい。並行読書をさせるにあたって読書カードを準備し読んだ本の情報を書きためさせることで読書への意欲付けと「すごいぞカード」へスムーズに取り組める材料となるようにしたい。その際、「もぐる」「すべらない」「かくれる」「にげる」などの動物の機能につながるキーワードを掲示するなどして読む観点としたい。

4. 単元の目標と評価規準

- ・知りたい動物についての体の特徴や機能について関心を持ち、必要な情報を得るために進んで図鑑や資料を読もうとする。 (国語への関心・意欲・態度)
- ・事柄のまとまりをとらえて順序に沿って、体の特徴と機能などの大事なことばに気づき内容をつかむことができる。 (読むこと)
- ・主述をとらえることができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

(評価規準)

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・知りたい動物の体の部分や機能について関心を持ち、必要な情報を得るために進んで図鑑や資料を読もうとしている。	・事柄の順序に気をつけて、ビーバーの巣作りの様子を体の特徴と関連づけて読んでいる。 (イ) ・目的に合わせて、動物に関連する本を読んでいる。 (カ)	・主語と述語をとらえて、文章を読んでいる。 (イ (カ))

5. 単元の指導計画（1 1 時間）

次	時	主な学習活動	言語活動に関する留意点	評価規準 (評価方法)
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> 身近な動物の能力に関する教師の読みきかせを聞き、動物の体の特徴や機能について関心を抱く。 	<ul style="list-style-type: none"> 動物が持つ特徴的な能力について話題にし、動物の体の特徴や機能について関心が高まるようにする。 	【関】 動物について関心を持ち、上級生に知らせるためのカードをまとめることに興味を持とうとしている。(観察・発言)
	1	<ul style="list-style-type: none"> 動物について分かったことを上級生に知らせるため「どうぶつすごいぞカード」に書いてまとめることやカードの書き方を知る。 学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの言語活動を振り返り、分かりやすく伝える手段としてのカードの良さを確認し、自分でも知りたい、調べてみたいという思いや「誰に」「どうやって」伝えたいのかなどの自分の思いをふくらませる。 意欲を持たせるため、本や図鑑、読書カードを用意して並行読書がスタートできるようにする。 単元の見通しを持つことができるようにする。 	
第二次	1	<ul style="list-style-type: none"> 「ビーバーの大工事」に出てくる動物、ビーバーについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ビーバーについて住んでいるところやどんな動物なのかを事典や図鑑、絵本などを通して知ることができるようにする。 	【関】 ビーバーについて関心を持とうとしている。(観察・発言)
	1	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体を概観する。 	<ul style="list-style-type: none"> 主述をおさえながら工事の内容を順番にとらえることができるようにする。 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> 写真と文章から工事の内容・順番を読み取る。 		
	1	<ul style="list-style-type: none"> ビーバーが木をかじって倒す様子を読み、カードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事の内容とそれができる体の特徴を読み取って「どうぶつすごいぞカード」にまとめる。 主述を確認できるように口頭作文をする。 ペア学習で、お互いのカードを読み合い、気づいたことを交流させカードに付け加えや書き換えができるようにする。 	【読】 まとまりをとらえ、体のつくりと巣作りの様子に気づいて読んでいる。(観察・発言・カード)
	1	<ul style="list-style-type: none"> ビーバーが切り倒した木を泳いで運んでいく様子を読み、カードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習をクイズで確認させる。 工事の様子と関わる体の特徴を交流によって正しく読み取る事ができるようにする。 	
	1 (2組 本時)	<ul style="list-style-type: none"> ビーバーがダムを作る様子を読み、カードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習をクイズで確認させる。 ビーバーがどのようにしてダムを作るのか順番やダムの大きさを確認させる。 工事の様子と関わる体の特徴を交流によって正しく読み取る事ができるようにする。 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> ビーバーが安全な巣を作って暮らす様子を読み、カードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ダム作りを順番クイズで確かめる。 巣全体をみてビーバーの泳ぎのうまさや知恵があること、家族で安全に暮らしていることなどを関連づけてカードにまとめることができるようにする。 	
1	<ul style="list-style-type: none"> 自分のお気に入りの動物について書かれた本を選び内容を確認するカードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流活動によって体の特徴と機能が確かめられるようにする。 	【読】 事柄ごとのまとまりをおさえ、大事なことばをとらえ読んでいる。(カード)	
1	<ul style="list-style-type: none"> 上級生に書いたカードを読んでもらいクイズで交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> クイズで交流することで自分が読んだことをカードにまとめられるようになった力を実感できるようにする。 		

公開授業 I 2年2組 本時

6. 本時の学習（8時間/11時間）

（1）目 標

「どうぶつすごいぞカード」にまとめることを通して、ビーバーがダムを作る様子とそれができるのは長い時間潜っていることができるというビーバーの体の特徴との関係について読むことができる。

（2）展 開

段階	活 動 内 容	・手立て及び留意点 ◇評価規準
導 入	1. 前時を想起する。 2. 学習する課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ビーバーがダムを作るようすを読んで、「どうぶつすごいぞカード」にまとめよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの工事についてカードを見ながらクイズ形式で確かめられるようにする。 ・本時の学習は前時の工事の続きであることやその工事ができる体の特徴を読む事であることを確かめる。
展 開	3. 工事の内容と体の特徴について一人で読む。 4. 交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでビーバーの工事の内容と体の特徴を紹介し合う。 ・紹介し合った内容について良さを確認したり、つけ足しなどをアドバイスしたりする。 5. ビーバーの体の特徴と、どのようにしてダムを作っているのかを文章から確かめる。 6. 交流したことをもとにカードに清書する。 7. 並行読書で見つけた動物の体のつくりを紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・体の特徴とどのように仕事をしたかをワークシートに書くことを確認する。 ・読む段落も確かめておき、動作を表す言葉に着目しながら読むようにする。 ◇ビーバーの体の特徴と工事の内容を結びつけて読み、ワークシートにまとめている。 ・読み取れない児童には、ビーバーの行動に着目して読むことを支援する。 ・読み取ったことを深めるために次の視点で質問し合って、良さを伝えたり付け足しなどをアドバイスしたりできるようにする。 ①どんな体の特徴か。 ②どんな工事ができるのか。 ・ペアの発表を通して、ダム作りの手順、ダムの大きさなどを確認する。また、絵や写真と発表とを照らし合わせることで、自分達の読みの確かさを見通せるようにする。 ◇ペアや全体での話し合いから、ダムの作り方、長く潜っていられることをとらえて読み、カードにまとめている。 ・板書を手がかりにカードにまとめられるようにする。 ・並行読書で読んだ動物の体のつくりを発表させることで、第三次の学習の見通しがもてるようにする。
終 末	8. まとめをする。 9. 次時の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・次の工事についてカードにまとめることを伝える。

7. 板書計画

しゅんじよに気をつけて

「どうぶつすごいぞカード」を作ろう。

ダムを作るビーバーのようすを読んで、

「どうぶつすごいぞカード」にまとめよう。

ビーバーがしたこと

工事のすごさが分かることば

ビーバーの体の特徴（しくみ）

ながくもぐることができる。
できること

- ・もぐる、さしこむ、つみあげる、
- かためてダムをつくることができる。
- ・大きくてりっぱなダムをつくること
ができる。

ビーバーのカードにはくをいれてできました。
私はく。

公開授業Ⅱ 2年1組 本時

6. 本時の学習（10時間／11時間）

（1）目 標

自分が興味をもった動物の本の中から、動物の名前、機能、体の特徴を読み取り、「どうぶつすごいぞカード」にまとめることができる。

（2）展 開

段階	活 動 内 容	・手立て及び留意点 ◇評価規準
導 入	1. 前時までの学習を想起する。 2. 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">「どうぶつすごいぞカード」を作ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・どの本の、どの動物について書くのかを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上級生に動物のすごいところを紹介するために「ビーバーの大工事」を読んで、ビーバーの体の特徴と機能について「どうぶつすごいぞカード」にまとめてきたことを想起できるようにする。 ・並行読書カードを見せながら、並行読書でたくさんの本を読み、いろいろな動物のすごいところを見つけてきたことを思い出させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を全員で音読して、本時の学習の見通しを持つことができるようにする。 ・上級生に紹介する説明の文をカードにまとめることを確認する。 ・並行読書カードを手元に置かせ、活用できるようにする。
展 開	3. 自分が興味をもった動物について「どうぶつすごいぞカード」に書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・カードに書く内容を確認する。 ・カードに書く。 4. カードに書いたことを発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・どの記述内容について確認するかを考える。 ・ペアで記述内容が書かれていたかを読み合う。 5. カードの内容を読み直す。 <ul style="list-style-type: none"> ・不足部分を書き足す。 ・加除修正をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カードには、動物の名前、機能、体の特徴を書くことをおさえられるよう、ビーバーのカードを例示する。 ・主語、述語を正しくとらえられるよう、書き出しを与えておく。 ・書き終わった児童には、見直し、加除修正するなど、次の見通しをもたせておくようにする。 ◇自分が興味をもった動物についての名前、機能、体の特徴をとらえて読んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・書き方が分からなくなった児童には、自分が選んだ本を読み返させたり、学習掲示などを手がかりに書かせたり、個別のカードを用意したりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで発表し合う際の視点を与える。 ・途中でもいいことを伝える。 ・ペアにカードを見せて、書いた文を指さしながら読ませることで、気をつけて読むことができるようにする。 ・動物の名前、機能、体の特徴が書かれていたかを確認させる。 ◇「どうぶつすごいぞカード」について交流し合う中で、自分の書いた内容を読み直し、不足部分を書き足したり、加除修正をしたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ◇書いた文を読み返し、伝えたいことを落とさずにまとめている。 ・読み返しても気づけない子には、個々の並行読書の様子から教師がおさえていた内容を声がけする。

終 末	<p>6. 「どうぶつすごいぞカード」を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードに書いたことを数名に発表させる。 <p>7. 学習内容をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書く事柄に気をつけながらカードを作ったことを確かめる。 <p>8. 次時の確認をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不足部分を書き足したり、加除修正をしたりすることができた児童を褒める。 ・口頭でまとめさせる。 ・上級生に紹介することを告げる。
--------	---	---

7. 板書計画

子どもの発表

じゅんじよに気をつけて
「どうぶつすごいぞカード」を作ろう。

「どうぶつすごいぞカード」を作ろう

カードに書くこと

- ・ どうぶつの名前
- ・ 体のぶぶん
- ・ とくちよう

書きおわったらすること

- ・ 読み直す。
- ・ 字のまちがいを見つけて直す。
- ・ たりないことばやいらぬことばを見つけたら、書きたしたり、ここききけずつたりする。